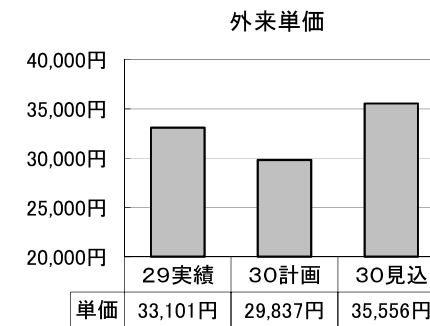
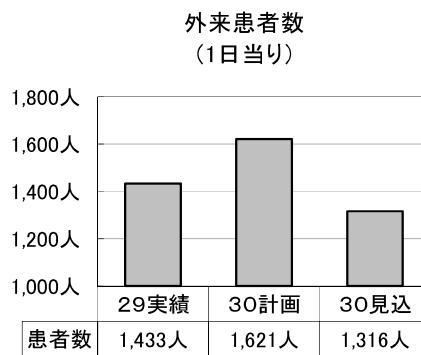
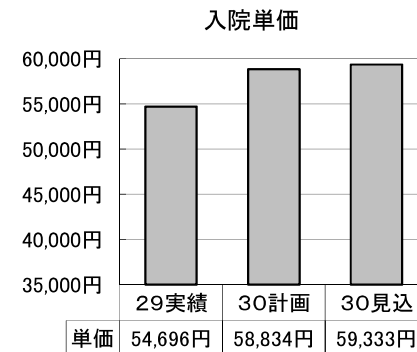
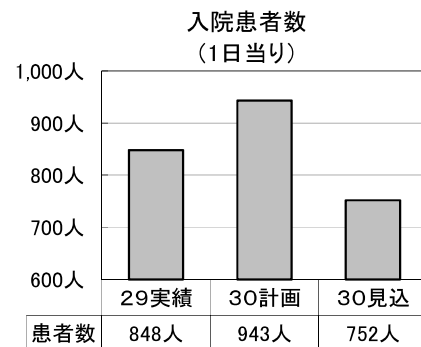
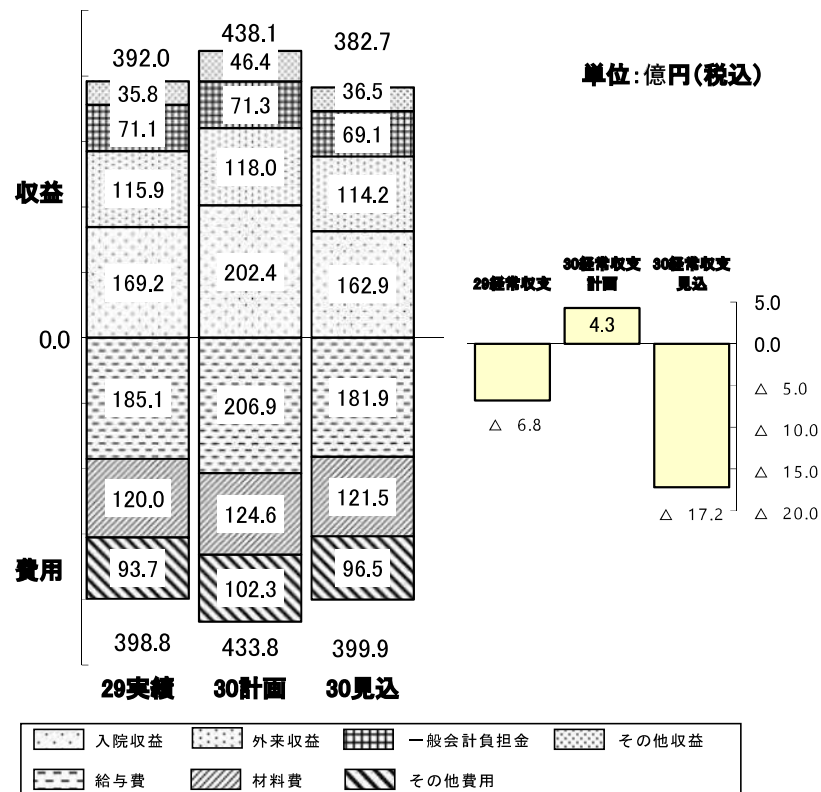


1 平成30年度計画と決算見込比較



<収益>

収益は382.7億円で、計画(438.1億円)に比較し55.4億円の減収。

- ・入院収益は、特に愛知病院の患者数の減などにより39.5億円の減収。
- ・外来収益は、患者数の減などにより3.8億円の減収。
- ・その他収益はがんセンター中央病院で、国等からの委託研究や受託研究収益が計画を2.8億円下回ったことや、本庁で損害賠償の支払い案件がなく、保険収入がなかったことから計画を1.7億円下回ったことなどにより、9.9億円の減収。

<費用>

費用は399.9億円で、計画(433.8億円)に比較して33.9億円の減少。

- ・給与費は、医師等の欠員や計画と実績の単価差により25.0億円の減少。
- ・材料費は、患者数の減などにより3.1億円の減少。
- ・その他費用は、がんセンター中央病院の研究研修費が計画を1.8億円下回ることや、本庁で損害賠償の支払い案件がなく計画を1.7億円下回ったことなどにより5.8億円の減少。

<経常収支>

経常収支は17.2億円の赤字となる見込みで、計画(4.3億円の黒字)に比べ21.5億円下回る。

【参考】収益的収支見込（病院事業全体）

（単位：億円）

		H29 決算	H30		
			計画	見込	見込－計画
収益	入院収益	169.2	202.4	162.9	△ 39.5
	外来収益	115.9	118.0	114.2	△ 3.8
	一般会計負担金	71.1	71.3	69.1	△ 2.2
	その他収益	35.8	46.4	36.5	△ 9.9
	収益 計	392.0	438.1	382.7	△ 55.4
費用	給与費	185.1	206.9	181.9	△ 25.0
	材料費	120.0	124.6	121.5	△ 3.1
	その他費用	93.7	102.3	96.5	△ 5.8
	費用 計	398.8	433.8	399.9	△ 33.9
経常損益		△ 6.8	4.3	△ 17.2	△ 21.5
経常収支比率		98.3%	101.0%	95.7%	-5.3%
医業収支比率		81.4%	83.8%	78.9%	-4.9%

※ 特別利益、特別損失を除く

（年度末累積欠損金の状況）

（単位：百万円）

	H29 実績	H30		
		計画	見込	計画－見込
年度末累積欠損金	44,237	43,808	46,841	△ 3,033

2 病院別経常損益

	H29 決算	H30		
		計画	見込	見込－計画
中央病院・研究所	8.6	7.5	5.5	△ 2.0
愛知病院	△ 3.3	△ 2.1	△ 11.2	△ 9.1
精神センター	△ 4.6	△ 2.4	△ 7.4	△ 5.0
小児センター	△ 7.2	1.8	△ 3.6	△ 5.4
本庁等	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	0.0
計	△ 6.8	4.3	△ 17.2	△ 21.5

3 病院別経常収支比率

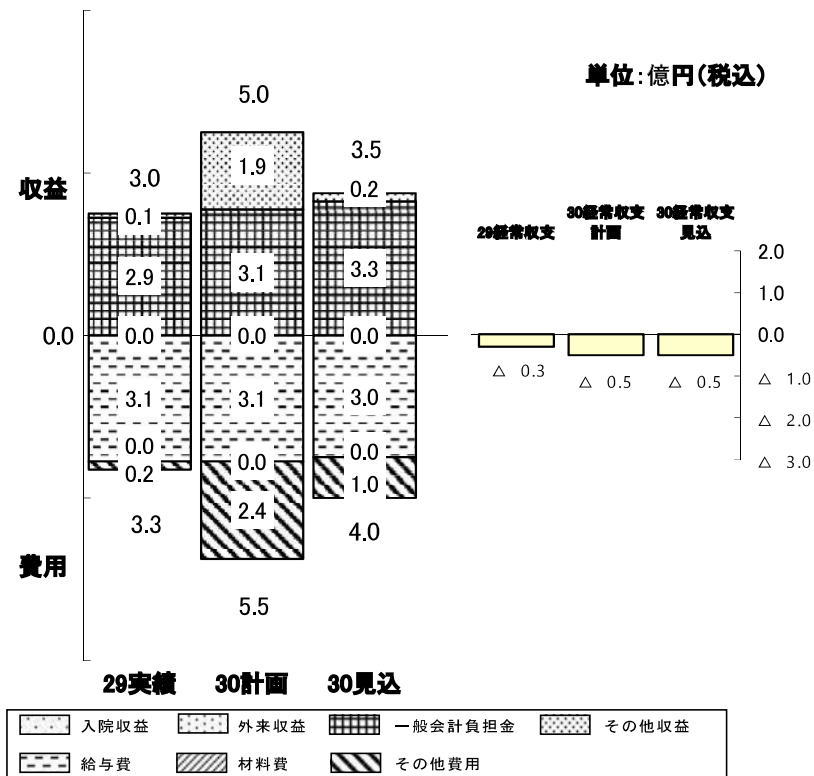
	H29 決算	H30		
		計画	見込	見込－計画
中央病院・研究所	104.2%	103.5%	102.6%	-0.9%
愛知病院	94.0%	96.7%	74.1%	-22.6%
精神センター	87.3%	94.3%	80.9%	-13.4%
小児センター	92.8%	101.6%	96.5%	-5.1%
本庁等	93.7%	90.4%	85.4%	-5.0%

4 病院別医業収支比率

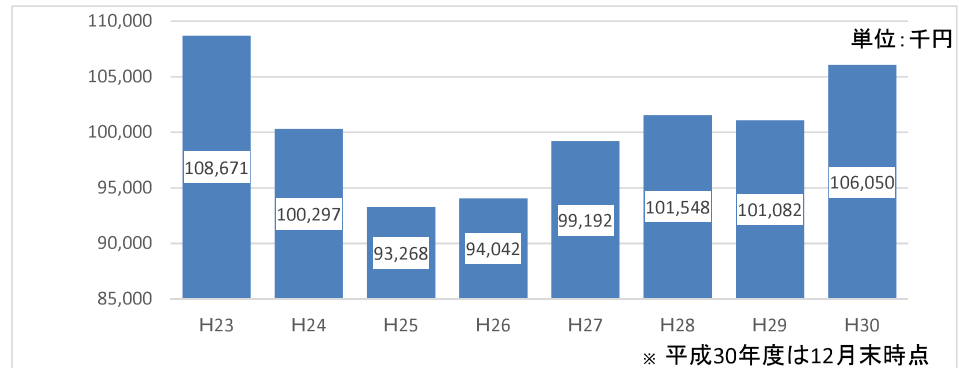
	H29 決算	H30		
		計画	見込	見込－計画
中央病院・研究所	91.5%	89.9%	90.0%	0.1%
愛知病院	75.5%	80.8%	51.8%	-29.0%
精神センター	63.1%	68.6%	59.6%	-9.0%
小児センター	70.1%	79.1%	73.6%	-5.5%
本庁等	91.0%	88.7%	104.6%	15.9%

本庁の取組状況

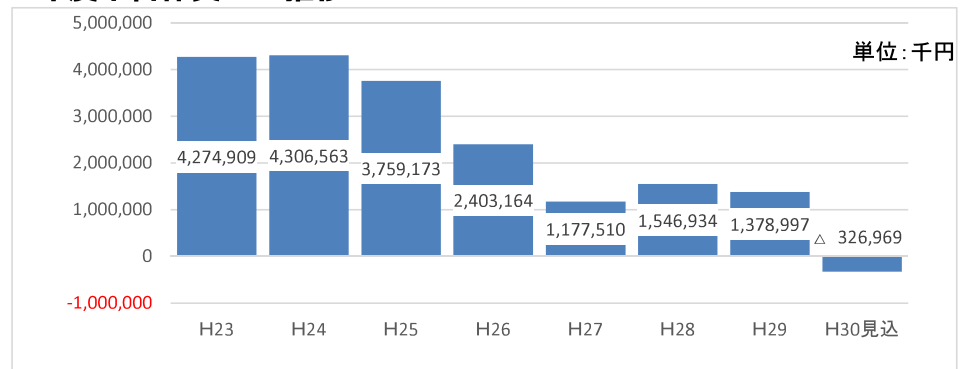
1 平成30年度計画と決算見込比較



年度末過年度未収金の推移



年度末留保資金の推移



<収益>

収益は3.5億円で、計画(5.0億円)に比較し1.5億円の減収。

- ・その他収益は、損害賠償の支払い案件がなく、保険収入がなかったことなどにより1.7億円の減収。

<費用>

費用は4.0億円で、計画(5.5億円)に比較して1.5億円の減少。

- ・その他費用は、損害賠償の支払い案件がなかったことなどにより、1.4億円の減少。

<経常収支>

経常収支は0.5億円の赤字となる見込みで、計画の通りである。

職員数の状況

	29年度		30年度		差	
	定数	現員	定数	現員	定数	現員
医師	284 (110)	239 (80)	283 (112)	239 (71)	△ 1 (2)	0 △ 9
看護師 助産師	1,076 (17)	1,097 (16)	1,089 (17)	1,071 (18)	13 0	△ 26 2
医療技術	287 (21)	260 (20)	290 (21)	267 (22)	3 0	7 2
その他	137 (82)	132 (69)	136 (92)	132 (78)	△ 1 (10)	0 9
計	1,784 (230)	1,728 (185)	1,798 (242)	1,709 (189)	14 (12)	△ 19 4

※ ()内は任期付短時間勤務職員・非常勤職員・再任用職員

※ 現員は各年度の2月1日時点の数

【参考】収益的収支見込（本庁）

（単位：億円）

		H29 決算	H30		
			計画	見込	見込－計画
収益	入院収益	0.0	0.0	0.0	0.0
	外来収益	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般会計負担金	2.9	3.1	3.3	0.2
	その他収益	0.1	1.9	0.2	△ 1.7
	収益 計	3.0	5.0	3.5	△ 1.5
費用	給与費	3.1	3.1	3.0	△ 0.1
	材料費	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他費用	0.2	2.4	1.0	△ 1.4
	費用 計	3.3	5.5	4.0	△ 1.5
経常損益		△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	0.0
経常収支比率		93.7%	90.4%	85.4%	-5.0%
医業収支比率		91.0%	88.7%	104.6%	15.9%

※ 特別利益、特別損失を除く

2 目標（成果指標）の達成状況

成果指標	単位	H29 実績	H30 目標	H30 見込	達成率
建物長寿命化計画の策定	—	中央病院の長寿命化計画策定について、本庁として支援をした。	計画期間内に計画策定	中央病院の長寿命化計画策定について、本庁として支援をした。	—

3 経営改善に関連する主要な取組

(1) 必要な医師、看護師及び医療技術者等の確保

平成 30 年度の定数増の状況は以下のとおり。

	職種	項目	定数増	充足数
がんセンター中央病院	医師	リスク評価センターの新設	3	2
		薬物療法部の体制強化		
		消化器外科部（肝胆膵外科診療科）の体制強化		
がんセンター愛知病院	看護師	手術室看護師増員	3	3
	その他 コメディカル等	リスク評価センターの新設	1	1
がんセンター愛知病院	事務	岡崎市民病院との統合協議による業務の増加に対応した事務職員の増	1	1
精神医療センター	看護師	児童青年期ダイケア開棟 児童青年期病棟のフル体制	3	3
	その他 コメディカル等		3	3
あいち小児保健医療総合センター	医師	三次救急体制の充実・強化	1	1
	看護師		8	8
	その他 コメディカル等		4	4
合計			27	26

※ 上の表は定数の純増分であり、定数減を含めると前年度比 1.4 人増

(2) 経営改善の取組にあたっての全職員への周知・意識改革

患者数や手術件数など中期計画全ての指標について月毎の分析を行い、病院事業庁長や各院長等が出席する毎月の管理会議の議題とするとともに、各病院の担当者に周知した。